

## 令和5年度保健師職能委員交流会を開催しました

今年度の保健師職能委員交流会は9月30日（土）の午前中に、9支部9名の職能委員及び本部職能委員6名、保健師職能担当理事の千葉副会長にもご参加いただき、合計16名で実施しました。

交流会のテーマを「保健師を取り巻く課題を共有しよう」とし、今年度の各支部での活動状況や課題となっていること、保健師間の連携や協働、会員拡大にむけての取組について話題提供しあい、情報を共有しました。

主な内容は、以下のとおりです。

### ① 今年度の活動について

これまではコロナ禍で活動の縮小・中止、参集が難しいためオンラインでの開催が中心でしたが、今年度は5月8日にコロナが5類になったことから、参集しての支部委員会や研修会が開催されつつあります。参集により顔の見える関係ができ、より連携しやすくなってきていること、支部での事業やイベントを通して、これまでつながりがなかった産業保健分野等機関との連携が図れた事例紹介があり、「つながる」ことの大切さを再確認しました。

### ② 複雑かつ多重課題事例を支援する事例検討会について

日頃の保健活動の中で、多問題のある方への対応に苦慮することも多く、事例検討会やケース会議は地域で必要時実施されています。このような活動から、自分たちの役割や活動を視える化し、個別課題から地域課題へ、施策化の視点を持つことも保健師全体に広めていきたい課題でした。

### ③ 保健師間の連携について

地域では統括保健師等連絡会を開催し、情報交換、意見交換を行っています。行政保健師の連携等はありませんが、産業保健分野とのつながりがなく、支部での事業などを通し、連携を図ることができたという好事例が紹介されました。

### ④ 会員拡大にむけたそれぞれの活動について

どの支部においても、なかなか入会に至らないという課題が出されました。どうメリットを伝えていくか難しいという意見がほとんどでした。保健師職能委員会では「職能団体の役割と保健師のネットワーク強化に向けて」を改めて確認し、各所属で継続して伝えていくこととしました。

全体的に活発に話し合いがなされ、他支部の活動の共有化や、新しく職能委員となった方が他の支部委員とつながることができた有意義な交流会となりました。

